

科目名	地域活性化実践論	
対象	学部1～6年生	
開講期	前期開講	
授業形態	対面授業: 武庫川女子大学 中央キャンパス、ららぽーと甲子園(フィールドワーク)	
講義目的	地域の活性化に必要な知識、構造、問題点等を明らかにし、系統的に理解することにより、地域活性化に向けた方策を考える能力を身につける。特に、関西地域において、医療、福祉、情報学分野でどのような取り組みが必要であるか、またどのような連携システムの構築が必要であるかを学習する。	
講義概要	関西地域独自の問題を取り上げ、地域活性化に必要な知識、構造等について学習する。その具体的な問題点に対し、グループディスカッションを通して、解決策を議論し、最終日に提案を行う。	
授業計画 (予定)	1日目 5月22日(土)	(1) 3限: ガイダンス、地域活性化システム論 総論 (2) 4限: 商業施設と地域活性化 健康の概念、疾病の予防、健康増進 (3) 5限: 課題演習
	2日目 5月29日(土)	(4) 3限: 講演(プレゼンテーションに関して) (5) 4限: 講演(プレゼンテーションに関して) (6) 5限: 課題演習
	3日目 6月5日(土)	(7) 3限: フィールドワーク(ららぽーと甲子園) (8) 4限: フィールドワーク(ららぽーと甲子園) (9) 5限: フィールドワーク(ららぽーと甲子園)
	4日目 6月12日(土)	(10) 3限: 課題演習 (11) 4限: 課題演習 (12) 5限: 課題演習
	5日目 6月19日(土)	(13) 3限: 課題演習 (14) 4限: 課題演習 (15) 5限: グループワークの最終発表会、総合討論
成績評価	グループディスカッションへの参加度、最終発表、レポートの内容を総合評価する。	
履修上の注意 (受講要件)	やむを得ない事由を除き、6月19日のグループワーク発表会への出席は単位認定には必須の条件である	
受入人数	新型コロナウイルス感染症対策のため、使用教室にあわせて受講定員を設定する。また、最低10名上の受講生で開講する。	